



## 母子健康手帳を通じた母子保健サービス向上プロジェクト通信

2021年9月号

### ◆母子健康手帳委員会◆

アンゴラ保健省は母子健康手帳の全国展開を目指しています。JICA のプロジェクトではルアンダ州、ベンゲラ州、ウアンボ州 5 市を対象に母子健康手帳の導入を行っています。その他にも、国家公衆衛生局と協力して、PSI (Population Service International : 国際人口サービス/アンゴラで活躍する NGO) や世界銀行が母子健康手帳の導入地域拡大のために、手帳の印刷や医療従事者への研修を行っていて、母子健康手帳の介入エリアはどんどん拡大されています。母子健康手帳の内容や、研修に必要な教材(テクニカルマニュアルやフリップチャートなど)の改訂等について取りまとめる役割を担っている「母子健康手帳委員会」が存在します。メンバーは、国家公衆衛生局長をはじめ、プライマリーヘルスケア部、ヘルスプロモーション部、国立 AIDS 研究所、アンゴラ小児学会、州保健局、JICA 等の国際機関のスタッフ等で構成されています。日々変化する母子保健サービスを熟知したアンゴラの母子保健専門家たちの集まりです。

母子健康手帳委員会は、アンゴラに母子健康手帳が導入されることが決まった 2013 年に発足しました。委員会メンバーが協議を重ね、それまで使用されていた妊婦手帳や子供健康カード(ワクチンカード)をベースに、母子健康手帳の内容を作成しました。その後、2014 年にルアンダ州の 9 つの保健施設がパイロット施設となり、母子健康手帳の導入が試行されました。

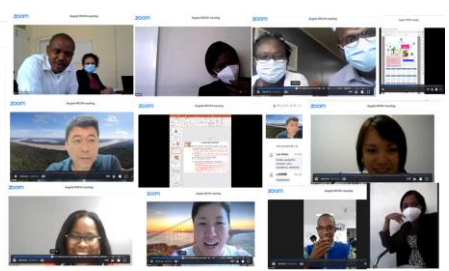
本プロジェクト(PROMESSA : 2017 年 5 月~)での母子健康手帳委員会は、2017 年 6 月に第一回目が開催され、TOR (Terms of Reference) が承認されました。TOR には、委員会の役割、メンバー、開催時期、手帳の改訂手順等が記載されています。その後もフリップチャートの作成時や、テクニカルマニュアルの改訂時、コミュニティ啓発活動の活動内容について等、必要時に母子健康手帳委員会が開催されています。多くの専門家の意見が反映された手帳やその他教材が作成され、母子健康手帳の導入地域拡大や利用促進に大きく貢献しています。最近では委員会がオンラインで開催され、より多くのメンバーが参加できるようになりました。



母子健康手帳委員会  
(2017 年 6 月開催)



オンラインで開催された母子健康手帳委員会の様子  
(コミュニティ啓発活動について協議)



### ◆母子健康手帳通信は JICA アンゴラの Facebook から閲覧可能◆

母子健康手帳通信(ポルトガル語版)は、JICA アンゴラ事務所の Facebook ページからも閲覧可能です。母子健康手帳に関連した活動の写真も掲載されています。

<https://www.facebook.com/jicaangolafo/>